

地域公共交通シンポジウム in 札幌・旭川・釧路を開催しました。
～ 北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて ～

(北海道運輸局)

昨年11月、JR北海道は、厳しい経営環境を踏まえ、単独では維持困難な線区を公表し、地域における持続可能な交通体系の構築のために地域と協議を行いたい意向を示しました。今後、北海道においては、鉄道、自動車、航空などの交通手段が、それぞれの適性に応じて適切な役割分担をしながら、持続可能な交通体系を構築していく必要があります。既に全国の様々な地域において、事業者、地域住民、行政が連携して地域の公共交通を支え、その維持・活性化を図っている取組事例が見られます。

そこで、北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて、他地域での取組事例等に詳しい学識経験者、自治体職員、事業者等からの講演・発表とパネルディスカッションを通じて、皆様とともに検討する機会となるよう、札幌市、旭川市及び釧路市の3都市でシンポジウムを開催しました。自治体、交通事業者などさまざまな業界から、札幌会場で約200名、旭川で約150名、釧路会場で約160名と多くの方々にご参加をいただきました。

札幌会場では、名古屋大学の加藤教授による基調講演、事例発表として近畿日本鉄道(株)の福嶋計画部長より赤字路線再生に向けた地域鉄道線への取組、京都府の寺井交通政策課長より鉄道事業再構築のために行った「上下分離」方式の取組、イーグルバス(株)の谷島代表取締役社長より効率的なバス事業と交通まちづくりの取組に関して講演を賜りました。

旭川会場では、流通経済大学の板谷教授による基調講演、事例発表として札幌会場に引き続き近畿日本鉄道(株)の福嶋計画部長から赤字路線再生に向けた地域鉄道線への取組、福島県の尾形生活環境部長とJR東日本(株)の大口復興企画部長からそれぞれ、自然災害で被災した路線の復旧への取組について講演を賜りました。

釧路会場では、札幌会場に引き続き名古屋大学の加藤教授による基調講演、事例発表として旭川会場に引き続きJR東日本(株)の大口復興企画部長より被災路線復旧への取組、和歌山電鐵(株)の磯野代表取締役専務より鉄道利用促進等の取組、福井県の平林室長より地域鉄道支援の取組に関して講演を賜りました。

また、各会場では基調講演、取組事例発表後にパネルディスカッション「北海道における持続可能な交通体系の構築について」と題して加藤教授、板谷教授、事例発表者にご登壇頂き、本省鉄道局の水嶋次長、大野鉄道事業課長も加わって、自治体・事業者・国それぞれの立場から、持続可能な交通体系構築に向けた取組におけるポイントや、今後の地域公共交通の課題等について活発な意見交換が行われました。

シンポジウムの開催概要、資料及び当日の会場の様子は、以下のURLをご覧ください。

<地域公共交通シンポジウム in 札幌>

http://wwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/tiikikoukyoukoutsuu/67shinpojiumu/index_shinpojiumu_hokkaido.html

<地域公共交通シンポジウム in 旭川>

http://wwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/tiikikoukyoukoutsuu/68shinpojiumu/index_shinpojiumu_hokkaido.html

<地域公共交通シンポジウム in 釧路>

http://wwtb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/tiikikoukyoukoutsuu/69shinpojiumu/index_shinpojiumu_hokkaido.html